

<週報No. 2,840> 2,949 回例会

2018年4月20日(金)

◆会長／八幡 一成 ◆幹事／北川 和彦

◆司会＝平林明 S A A

◆ゲストビジター＝本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本日	74.72%	13名欠席
前回	40.74%	23名欠席
前々回訂正	81.82%	9名欠席

◆ラッキーナンバー＝No.7 山田文雄君

◆ニコニコボックス ●八幡一成君、北川和彦君＝本日は会員増強・選考・職業分類委員会担当の卓話です。よろしくお願ひします。●古屋了君＝伊藤直前会長から写真をいただいて。●玉本広人君＝伊藤直前会長写真をありがとうございました。●朝倉英仁君＝長期欠席をさせていただきました。●藤森和敏君＝結婚記念日にお花を頂き有難うございました。●山田文雄君＝ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・八幡一成会長＝4月は「母子の健康月間」として指定されていますので、今日は、中津川のロータリークラブとブラジルのロータリークラブがパートナーとなって実施された、グローバル補助金プロジェクト「日本の姉妹都市との絆、ブラジルの新生児を救う」について紹介したいと思います。

一番近い病院は48kmも離れている上に、病院の新生児集中治療室には保育器が7台しかなく、満員になると赤ちゃんを別の病院に搬送する必要があります。命をつなぎとめたとしても、両親は数カ月も長距離の病院通いを余儀なくされます。ブラジル・リベイラバレーの病院でも、多くの妊婦が同じような困難に直面しています。設備が不足すると、すでに危険な状態にある新生児をほかの病院に搬送しなければなりません。この影響はサンパウロ州の高い乳児死亡率に表れています。「ここには2つの現実があります。私立病院の費用を払える人と、払えない人です。払えない人は、24もの町をカバーしている州立病院まで長距離を往復しなければなりません」。レジストロ・オウロ・ロータリークラブ(ブラジル)のプロジェクトを主導したりナ・シミズさんは、このように話します。

そこで同クラブとレジストロ・ロータリークラブは、岐阜県中津川の2つのロータリークラブとパートナーとなり、グローバル補助金プロジェクトを実施しました。ロータリアンは172,500ドル(約1,900万円)を集め、新生児の集中治療室に保育器5台を追加。これにより、それまでの倍近い新生児の受け入れが可能になりました。2013年には新生児129名、その後も毎年、多くの命を救っています。また、換気装置5台、ビリルビン測定装置1台等も設置し、出産前ケアの推進は母乳の重要性等についてあまり知らなかった遠隔地の妊婦にとって、大きな支えとなりました。

◆幹事報告・北川和彦幹事＝①5/11 18:30～ぬのはん新旧役員引継ぎ会があります。②来週の例会は片倉館山崎館長の卓話です。

◆ゴルフ同好会・川村総一郎会員＝次回ゴルフ会は6/16(土),17(日)に秦野RCゴルフ同好会と合同コンペの予定です。是非ご参加をお願いいたします。

◆クラブフォーラム

会員増強・会員選考・職業分類委員会合同例会

●山崎晃職業分類委員長＝本日は3委員会の合同例会です。3名の新入会員の方にロータリークラブに入会しての感想等をお話していただきます。

●秋山晶子会員＝“経営者の仲間が沢山できる楽しい会”だと声をかけて頂き、昨年秋入会しました。2004年に株式会社たび寅を設立し、開業当初は24時間ずっと仕事をしていました。そんな生活をしていると、生まれ故郷の横浜にいる友達は疎遠になり、気づけば身の回りには、お客様もしくは社員しかいなくなっていました。



ロータリー初日は、とても緊張していましたが、普通はお話すらできない会社の経営者の方がロータリーの仲間というだけで、皆さまの方から温かく話しかけて下さり、居心地がよい場所のように思えてきました。そして、極めつけの出来事が起きました。広報委員として撮影をした写真データが、壊れてしまったのです。宣伝のプロの私にとって、決してあってはならない出来事でした。その旨を、広報委員の皆様にお詫びしたところ、伴在委員長より返信がすぐに届きました。その一部をお話したいと思います。

“便利な言葉があります。ロータリアンは、ことあるごとに「ロータリーの友情に免じてお許しいただきたい」という言葉を使います。ミスしても、失礼な場面でもこの魔法の言葉が威力を発揮し、すべてを水に流してくれます。こういうこともロータリーの懐の深さを感じさせます。いずれにしても、あまり神経質に考えなくてもいいですよ。もっといい加減でいいのです。そうじゃないと息がつまりますよ。ロータリーライフを楽しむつもりでいいのです。ロータリーを楽しめば、結構メリットは大きいです。長くロータリーをやっていたら、それが実感できると思います。”

この伴在様のメールを機に、ロータリーは私にとって特別な場所となりました。本当の友を作っている場所が私にはできたんだと思いました。

●五味武嗣会員＝ 諏訪RCに入会して「四つのテスト」



の中に「II. みんなに公平か」という一文を見つけました。その時、「ああ、自分と同じように考えている人たちの中に入ることができた。」と、嬉しく思いました。

私の経営している会社の従業員は160名くらいおります。新卒者・中途入社者・パートさん・再雇用者など、雇用条件がバラバラです。だからこそ、何か施策を実施するには、みんなに公平であるように心がけています。「誰かひとりのために」「誰かに特別に」ということをすると組織がバラバラになるので、いつも公平を心掛けています。みんなに公平にするということはとても難しいことでありいつも悩んでおりますが、同じように考えている皆さんの中に入れてもらったことで、これから相談できる方々が増えたかと思ひ、心が楽になりました。

また、私はつまらない老後を送るかと思っていましたが、皆さんのお仲間にしていただいたので、楽しい老後が過ごせそうな気がしてきました。これからも長くお世話になると思いますので、よろしく願いいたします。

●野口洋介会員＝2月に入会

させていただきました。転勤族として、皆さんとご一緒させていただいて良いのだろうか？そんな不安がありまし



た。初参加で、ロータリーソングを終えた時の感想としては「どこで会ってもやあとのおうよ」。これは本当なのだろうか？不安が少し期待に変わった瞬間でした。

私は出席委員会に所属させて頂き、面と向かって挨拶しお顔とお名前を覚える機会、また覚えていただける機会があります。顔とお名前が分かると、クラブ計画書などを読み、皆さんがどのような方なのかイメージを掴み、私の中では皆さんに対して親近感を持つことができました。そして、何より皆さんがとても温かく、親しく接していただけることに感動しました。お声がけ頂ける方が毎回増え、だんだんとこの諏訪RCの一員としての自覚も強くなって参りました。

最近はこの諏訪RCは本当に温かく、そして公平で、素晴らしい方ばかりであり、自分の人生にとってとても大切な時間になるだろうと確信しています。

私は諏訪の前は、東京海上日動という会社の人材採用の責任者をしておりました。ミッションは2つで、1つはもちろん優秀で逞しい仲間を迎え入れること、そしてもう1つは1人でも多くの学生さんに当社のファンになってもらうことでした。諏訪RCの会員増強に際しても、もしかすると①知ってもらうこと、②すきになって貰うこと、というフェーズは共通しているかもしれません。

●小口武男会員選考委員長＝3名の新入会員からお話



を頂きました。今のフレッシュな気持ちを知ることができました。会員数は経済に比例して増減していくかと思ひ、長野県の有効求人倍率と比較すると、景気の動向と諏訪RCの会員数とはあまり相関がないと分か

りました。諏訪市の人口の推移と比較しますと、こちらとは相関があるようです。来期は会員増強特別委員会ができます。大いに仲間を増やしていきたいと思ひます。

◆今後の例会日程

4月27日	金	片倉館山崎館長の卓話
5月4日	金	法定休日
5月11日	金	クラブフォーラム・卓話
5月18日	金	青少年関係団体活動報告